

○永田メール問題、すみません。

永田議員の発言に端を発した武部幹事長のライブドアスキャンダル第一幕は、私たちが敗北しました。その後の処理のまずさから、皆さんの民主党に対する期待を裏切ることになってしまいました。本当に申し訳ありません。

メールの信憑性を問われた時に、永田議員が一番大元の情報提供者に直接接触过りなかったことが致命的でした。仲介者の話を信用して質問したといっても通用しません。この話に乗っていった私たち民主党の戦略的のない体制も、大いに反省しています。話の本質の見極めをして、難しい問題ほど逃げないで早く決着を付けること。大事なことにはチームで役割を分担しながら取り組むこと等々、貴重な勉強をしました。

予算は、2日に衆議院を通過してしまいました。4点セットを中心にスタートした追究が、メール騒動でぼやけてしまった事が悔やまれます。これからの舞台は、参議院の予算委員会と、衆議院では個別の各委員会に移ります。この失敗をバネに渾身の議論を続けます。

渡部恒三元副議長が国対委員長を引き受けてくれました。大長老、味のある人です。失敗に対して、打たれ強くなって、したたかに戦う態勢を作る方向で、今回の教訓を生かすことだと思っています。

○アメリカの独善、日本の無戦略

イランの外相が日本政府の招きで来日しました。私達も直接会う機会がありましたが、とても頑固なものです。原子力の平和利用は、必要だ。そのためのウラン濃縮は正当な行為。日本だってやっているではないか。こう言いたいのです。このことに対してアメリカが、イランは「悪の枢軸」の一つで国際テロの温床だと言い、ウラン濃縮技術の独自開発を止めないと、武力で阻止すると、脅しました。結果は、選挙で反米を鼓舞した現在のアハマディネジャド大統領が勝って、ガチガチの宗教右派政権ができました。

日本の場合で言えば、小泉総理の靖国参拝とアメリカー辺倒の日米同盟。本当は、今ほど韓国や中国とアジアの

連帯構築をする絶好のチャンスはないというタイミングであるにもかかわらず、相手国のナショナリズムを大きく刺激して反日運動を煽ってしまいました。

今日は、アメリカの防衛大学の研究者との朝食会で、サンドイッチをほおぼりながらこのことを取り上げ、「カウボーイみたいに銃で脅しつけるだけでは、その国の反米勢力や国粹主義者を元気付けてしまって、核やミサイルを持つ大儀を与えるだけではないか。単純過ぎないか。」と言いました。「大丈夫、韓国の中国傾斜もブーメランみたいにまた日本やアメリカの元に帰ってくる。」相変わらずアメリカ人は、自分たちが正義だと思い込んでいるのです。

○鈴鹿ナンバーが走る。

車のナンバープレートに、ご当地標識を使う事のできる地域が確定して、10月から使われる事になりました。三重県では、「鈴鹿」。鈴鹿市と亀山市で登録される新車からということですが、現在所有の「三重」も希望すれば「鈴鹿」に変えることができます。全国では、北から南まで仙台、会津、成田、伊豆、豊田、諏訪や倉敷、下関などおなじみの名前が全部で18地域に導入されます。これを契機に「F1の鈴鹿」プラスもう一つ、日本中への情報発信を育てたい気持ちになります。

○熊野古道「歩こう会」宇宙の旅

先週の日曜日は、熊野古道「歩こう会」に参加。しかし雨のために急遽、宮川村の「フォレストピア」に変更してお風呂に入ることにしました。

ラッキーなことに、参加者の中に宇宙研究の世界的な権威、佐治晴夫先生がいてくれたのです。早速、みなでお願いをして、宇宙のロマンを語っていただきました。ピアノで、ヴォイジャーが積み込んでいったバッハの演奏も聞かせていただきました。数学者の世界は、詩人の世界よりももっとロマンチスト。私たちの存在の根源までもジッと考えてしまう。そんな、刺激を深い森の中で受けました。